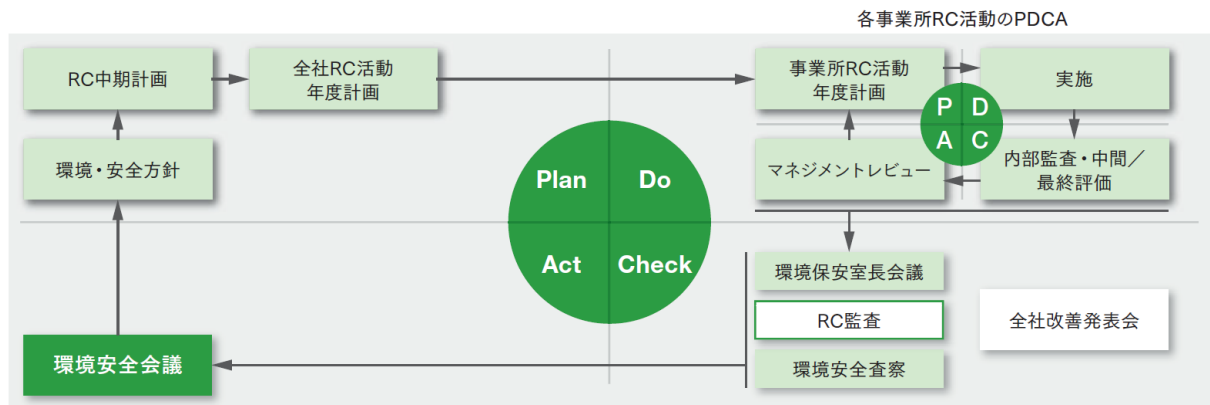


レスポンシブル・ケア関連データ

レスポンシブル・ケア（RC）活動のPDCA | レスポンシブル・ケア推進体制 | 安全性評価と製品情報提供の流れ
レスポンシブル・ケア中期計画2023

レスポンシブル・ケア（RC）活動のPDCA



レスポンシブル・ケア（RC）推進体制

環境安全会議は、社長を議長として、取締役、監査役、事業部門長、事業所長、生産技術部長で構成され、環境・安全方針、レスポンシブル中期計画及び年度計画、実施状況、レスポンシブル・ケアに関する重要事項、監査結果等の報告と審議を行います。

安全性評価と製品情報提供の流れ



レスポンスブル・ケア中期計画2023 (2021年～2023年)

活動コード	中期計画 (◆:「Grow UP 2023」KPI その他: RC目標)
労働安全衛生	<p>○MGCCと協力会社の労働災害撲滅を目指す。労働安全に直接/間接的に影響する要素を様々な評価方法を通じて見える化し、改善への土台を構築する。</p> <p>【2023年までの労働安全衛生の定量的目標】</p> <p>◆<u>重大労働災害</u>^{*1} 0件 MGC本体 休業、不休業 0件 協力会社 度数率0.3以下 強度率0.003以下</p>
保安防災	<p>○事故ゼロの達成を目指す。保安防災に直接/間接的に影響する要素を様々な評価方法を通じて見える化し、改善への土台を構築する。</p> <p>【2023年までの保安防災の定量目標】</p> <p>◆<u>重大事故</u>^{*2} 0件 ICCAスコア年間0; MGC本体・協力会社とも</p>
環境保全	<p>○企業活動を通じて社会貢献と自然環境の保全の両立を目指す。その結果社会からの評価の向上を得る。</p> <p>【2023年までの環境保全の定性/定量目標※】</p> <p>(1) ◆<u>温室効果ガス(GHG)排出量</u> ※2013年度比28%削減 ◆<u>温室効果ガス(GHG)排出原単位</u> ※2013年度比19.9%削減 ①0.4万t-CO2e/年の継続的削減 ②自家発電・ボイラー等の重油の全廃 (MF,YFY) ③購買電力のGHG排出係数削減 (0.45;MF) ◆④<u>購買電力の再生可能エネルギー10%導入 (全事業所)</u></p> <p>(2) 廃棄物のゼロエミッション ◆※<u>廃棄物ゼロエミッション率</u>^{*3} 0.3%以下</p> <p>(3) PRTR法届出物質の排出量 ※2020年比10%削減</p> <p>(4) 水資源保全 ※水再利用率95%以上 水リスクの特定 (国内製造拠点)</p> <p>(5) 生物多様性保全 ※生物多様性保全の本箱寄贈 累積10件 ※生物多様性の「目に見える現場」の設置1件</p>
化学品・製品安全	<p>○化学品・製品の性状と取り扱い方法を明確にし、全ての取扱者の安全と健康、環境を守る。</p> <p>【2023年までの化学品・製品安全の定量目標※】</p> <p>(1) 製品開発における安全評価の段階的な実施 (継続) ※<u>新規製品の上市・市場開拓の審査100% (製品数%)</u></p> <p>(2) 取り扱う製品のリスク評価と管理の推進 (継続) ※<u>製品安全教育100% (協議会加盟社数%)</u></p> <p>(3) 各国の化学物質管理法規に基づく申請・登録の確実な実施 ※<u>各国の化学物質管理における物質登録100% (製品数%)</u></p> <p>(4) SDS自動作成システムの運用と展開 ※<u>安全性情報 (SDS) の作成と交付100% (製品数%)</u></p>
物流安全	<p>○物流事故、トラブルの撲滅を目指す。</p> <p>(1) 物流トラブルの解析と水平展開の継続 (2) グループ会社物流部門との物流安全情報共有化 (3) 届け先荷役作業状況の解析と改善</p>
社会との対話	<p>○ステークホルダーからの評価向上を獲得し、信頼醸成を目指す。</p>
RC全般	<p>○MGCグループ一体での環境安全活動推進を目指す。 グループ内コミュニケーションを強化し、安全・保安防災・環境経営の推進を図る。</p> <p>○RC管理システムの継続的な改善を図る。</p>

*1 休業災害であって、死亡災害、永久労働不能災害を伴うなど障害補償の対象となった、またはその可能性のある障害、休業日数が4日以上であるもの

*2 地域に係る環境汚染や地域住民が被災するなど第三者に脅威を与える事故、重大労災を伴う事故

*3 最終処分量÷産業廃棄物発生量×100